

長野県議会議員の定数1減に対し飯水と中高の合区に断固反対する決議

平成29年9月12日に開催された長野県議会選挙区等調査特別委員会において、次回県議会議員選挙に向け議員定数を1減とする対象選挙区について、2つに絞られた案うちの1つの候補として飯山市・下水内郡の定数1と中野市・下高井郡の定数2を合区して定数2とする案が示されたとの過日の新聞報道に、県の最北端に位置する当地域では強い不安の声が出ている。

1票の格差は概ね2倍程度を目指すということが方針の1つではあるものの、これまで市同士の合区は例がなく、まして飯山市・下水内郡区は全国屈指の特別豪雪地帯にあり、その自然環境はことのほか厳しく、隣接する地域とはいえ中野市・下高井郡区とはまったく生活圏は異なった様相となる。

生活環境が厳しい故に、過疎化が進んでいるのは事実であり、この上、飯水と中高を合区することは過疎地や弱者の切り捨てと言わざるを得ない。

こうした特別豪雪地帯における地方創生や地域住民の安全・安心の暮らしを守るためには、1票の格差のみに捉われない、まさに多様で広範囲な総合的対策が必要である。

雪国での生活の営み、雪との闘いは、そこに住み続けている者にしか分からない苦労や葛藤があり、その生の声や心底からの訴えを国・県に伝えていくためには、飯山市・下水内郡区選出の議員が不可欠であると考えます。

よって、長野県議会議員の定数1減について、飯山市・下水内郡と中野市・下高井郡を合区することには断固反対するものである。

以上、ここに決議する。

平成29年9月21日

飯山氏議会議長 佐藤 正夫